

3 上通集落（一関市花泉町）

（1）活動のポイント

- 中山間地域等直接支払制度の5つの協定を統合し、地域ぐるみでの農地維持・管理活動を実施するとともに、ほ場整備や担い手への農地集積により、農業生産の効率化を進めている。
- 農村環境の美化活動として、女性グループが中心となり、非農家も参加した、ヒマワリなどの景観作物の植栽や、水稻の作付けが不適な水田での蓮の栽培、花壇の整備に力を入れている。
- 夏祭りでの「八木節」の披露や、東京の中学生の農作業体験の受入れ、昔から集落で管理してきた「上通り天満社」の竹林から集落内への移設などの取組を通じて、地域の一体感の醸成や活性化を図っている。

（2）現地調査における主な質疑

委員（質問・意見）	集落（回答）
・農作業体験の受入れでは、具体的にどのようなことを行っているか。	・東京の中学生を受け入れており、田植え作業を中心に、2泊3日で行っている。 ・受入れ後は、水稻の生育状況を写真で送っているほか、向こうでの秋祭りで、農産物を提供・販売するなど良い交流活動になっている。
・「八木節」に取り組んだ理由は何か。	・地域に踊れる人がおり、みんなが参加できる活動として定着させたもの。
・蓮が非常に美しいが、栽培のきっかけや目的はどのようなものか。	・減反制度が始まった際、畑作に向かない湿田に蓮を植えたもの。 ・景観作物として栽培しており、地域で喜ばれている。
・担い手以外の人たちの生活の安定性が集落の維持の鍵だと思うが、展望はあるか。	・1集落だけでは限界があり、もっと広い地域で、担い手に作業委託して発生した余剰労力の活用も組み合わせて考える必要がある。
・中山間地で展望がある状態を作るためには、食品産業への食材提供や6次産業化などの取組があるとよい。	・水稻育苗施設の遊休期間を利用して、余剰労力を活用して野菜苗の生産など、所得向上に取り組むたいと考えている。
・蓮など素晴らしい景観形成を行っているので、これらの地域資源を活かした交流拡大に取り組んでも面白いのではないか。	

(現地調査の写真 上通集落)



取組に係る説明



女性部が作成した紙細工



上通り天満社



協定農用地の紹介



天満社からの風景



蓮田の紹介



蓮田



マリーゴールド等の植栽